

平成16年1月8日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

1月所長会見における武黒所長挨拶内容

明けましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。

一昨年来、私どもは、不祥事に係わって克服すべき課題の解決に向けて走り続けてきましたが、今年は、「現場を強くすること」を発電所、構内協力企業を含めて共通課題として据えるとともに、私共が目指す「世界最高水準の原子力発電所」に向けた足場固めの年と位置づけたいと思っています。これまでの「品質保証システム改善」、「企業倫理遵守・企業風土改革」、「安全文化の醸成・定着」の各面から、これまでの再生に向けた活動をさらに加速していきたいと考えています。

第1点目は、品質保証システムについてです。既にIAEA・OSARTを11月に受け入れることはお知らせしていますが、品質保証システムの国際規格・ISO9001の認証を平成17年に取得するよう、発電所を挙げて取り組んでまいります。発電所の品質保証体系が外部機関による客観的評価を受けることは、認証に至る過程で仕事のやり方の見直し、改善を図ることであり、また、世界標準の評価を受けること自体、数多くの経験、学ぶことがあると考えています。良いところは伸ばし、直すべきところは直していく気持ちで、謙虚かつ精力的に取り組んでいきたいと思えます。

なお、原子力発電所のISO9001の認証は、平成13年に中国電力島根原子力発電所が、発電所の業務のうち設計・施工管理について部分的に認証を取得したと聞いていますが、原子力発電所の全組織を対象に、その全ての業務に関し認証を取得した例はなく、その意味では国内で初めてのこととなります。

第2点目は、所内組織の改編についてです。今ほど申し上げた品質保証システムでは、原子力発電所の安全安定運転を達成するために業務運営について継続的に改善することが肝要です。一方、新たな国の規制、特に品質保証を中心に改訂された保安規定、原子炉等規正法に基づき認可を受ける規定ですが、この保安規定とそれを踏まえた検査制度が昨年10月から開始されており、検査の実施、定期検査、安全管理審査への確な対応も必要となってきています。その根底には何よりも安全文化の確立が求められることとなります。

そこで、安全文化、品質保証体制・活動を強化するために、仕事のやり方を徹底的に見直すことはISOの認証や再生活動そのものの中で行っていくこととなりますが、同時にこれをより効果的に行っていくために所内組織も大幅に改編することとしました。

この組織改編に伴う人事異動規模は当発電所において過去最大となる見込みです。この組織改編に合わせて要員の増強も行う予定です。業務が的確に遂行できるように環境を整備し、安全文化の醸成・定着、品質保証活動の強化に取り組んでいきたいと考えています。

第3点目は、協力企業と一体感を持てるような活動の展開についてです。すでに昨年から活動を行っている合同推進チームは、年末のプラント一斉清掃

の提案など、現場の作業環境の改善や現場管理の見直しの検討を進めており、これに伴う改善も図られてきています。こうした活動の他、作業管理に関して作業員の方々がどのように感じているか生の声をお聞きするために、構内で働く作業員の方全員に対してアンケートを実施し、現在集約中です。

また、新たな取り組みとして、安全文化や企業倫理の醸成の観点から現場の作業班長に対する定期的な研修を当社が直接行うことを検討中で、準備が整えば、来月上旬にも開始したいと考えています。作業班長に対しては、これまで構内の協力企業各社で組織する企業協議会が中心となり、一般的な教育、技能・技術に関する研修、作業班長としての資格認定などを統一的行ってきていますが、これに加え、当社が直接研修を行い、これを通じコミュニケーションの活性化の取り組みとしたいと思っております。

情報共有の観点からは、これまでに行ってきた構内に設置している電子掲示板やメールマガジンの発信、毎週実施している構内あいさつ運動の配布チラシに加え、コミュニケーションツールの拡大の一つとして、構内専用のテレビチャンネルの立ち上げ準備を進めているところです。

こうした活動を通じ、当社、協力企業を問わず、発電所に働く全員に、文字通り「発電所員」としての一体感を生み出すことができると願っています。以上、今年の再生に向けた主な取り組みについてご紹介しましたが、冒頭申し上げた「足場を固める」上での最大の課題は、現在停止中のプラントの正常化です。定期検査中の7号機は来週末の起動予定ですが、その他のプラントも、順次、格納容器漏えい率検査の実施が見込まれます。

プラントの補修内容やその健全性といった技術的な面に関しては、各種のご説明によって一定のご評価をいただいているものと考えておりますが、こうした活動に到達点というものはなく、不断の努力を積み重ねていくことが重要だと思っております。

一昨年来、全戸訪問、各種説明会の実施により、延べ約43,000人の方々への説明と同時に、ニュース・アトム発行、メールマガジン等による情報は、延べ200万人の方々へ発信するに及びましたが、今後も尚一層、情報発信や説明について工夫を重ねてまいりたいと考えています。

添付) 配布資料及びDATA BOX

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX (H16年1月)

平成16年1月8日

発電所運転状況

プラント名	現在の運転状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況													補足説明
			2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1		
1号機 1,100MWe (S60.9.18運開)	第13回定期検査中 H14.9/3~	第12回 H13.5.7~H13.8.24 停止期間5/7~7/29(84日) 営業運転再開H13.8.24	[運転状況グラフ: 12月分停止]													[1号機] ・原子炉格納容器復旧作業及び漏えい率検査準備作業中。 ・1月下旬に原子炉格納容器漏えい率検査実施予定。
2号機 1,100MWe (H2.9.28運開)	第10回定期検査中 3/10~ (点検停止H14.9/20~3/9)	第9回 H14.3.29~H14.5.24 停止期間3/29~4/29(32日) 営業運転再開H14.5.24	[運転状況グラフ: 12月分停止]													[2号機] ・原子炉再循環系配管補修工事中。 ・原子炉格納容器漏えい率検査は3月以降になる見込み。
3号機 1,100MWe (H5.8.11運開)	第7回定期検査中 H14.8/10~	第6回 H13.4.17~H13.8.8 停止期間4/17~7/13(88日) 営業運転再開H13.8.8	[運転状況グラフ: 12月分停止]													[3号機] ・1月5日から燃料装荷中。 ・原子炉再循環系配管補修工事中(今後、応力緩和作業予定)。 ・2月中旬~下旬頃に原子炉格納容器漏えい率検査実施見込み。
4号機 1,100MWe (H6.8.11運開)	運転中 (定格熱出力運転)	第7回 H15.1.7~H15.8.20 停止期間1/7~7/25(200日) 営業運転再開H15.8.20	[運転状況グラフ: 12月分運転]													[5号機] ・シュラウド補修工事中。 ・原子炉再循環系配管補修工事中(今後、耐圧検査予定)。 ・2月下旬~3月上旬頃に原子炉格納容器漏えい率検査実施見込み。
5号機 1,100MWe (H2.4.10運開)	第10回定期検査中 3/1~	第9回 H14.1.14~H14.3.26 停止期間1/14~2/24(42日) 営業運転再開H14.3.26	[運転状況グラフ: 12月分停止]													[7号機] ・1月第3週末に起動予定。
6号機 1,356MWe (H8.11.7運開)	運転中 (定格熱出力運転)	第5回 H15.1.27~H15.6.10 停止期間1/27~5/9(103日) 営業運転再開H15.6.10	[運転状況グラフ: 12月分運転]													
7号機 1,356MWe (H9.7.2運開)	第5回定期検査中 9/23~	第4回 H14.4.9~H14.8.23 停止期間4/9~7/28(111日) 営業運転再開H14.8.23	[運転状況グラフ: 12月分停止]													

プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」。

発電所設備利用率(%) (12月末現在)

12月	30.7
15年度累計	28.0
運転開始後累計	78.7

発電所発電電力量(MWh) (12月末現在)

12月	1,876,926
15年度累計	15,165,332
運転開始後累計	621,115,982

ドラム缶発生量(本) (H15年度第2四半期)

当期発生本数	165
貯蔵庫累積貯蔵本数	11,488
貯蔵庫保管容量	30,000

使用済燃料貯蔵体数(体) (H15年度第2四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	9,860
使用済燃料貯蔵プール管理容量	15,281
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	20,845

構内従業員データ(12/1現在)

従業員数(人)	東京電力	960
	協力企業	4,192
	合計	5,152
協力企業地域別比率	柏崎市	52%
	刈羽村	6%
	その他	20%
	県内小計	78%
協力企業社数(社)	県外	22%
		490

来客情報(12月末現在)

	12月(人)	年度累計(人)
地元	419	5,411
県内	494	16,482
県外	1,149	29,553
国外	53	378
合計	2,115	51,824

今後の主なスケジュール

予定日	内容
1月10日	「き・な・せ」のゆく年くる年 新春もちつき大会(き・な・せ)
1月16,17日	名画鑑賞会(柏崎エネルギーホール)
2月12日	次回定例所長会見予定

テレホンサービス 0180-99-2277
インターネットサービスアドレス http://www.tepco.co.jp/kk-np/

東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
広報部
 0257-45-3131(代)